



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月11日

上場会社名 株式会社マルマエ

上場取引所 東

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日

配当支払開始予定日

平成28年4月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	1,151	12.5	267	55.8	250	48.7	173	△4.1
27年8月期第2四半期	1,023	45.8	171	55.9	168	62.0	181	61.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	33.02	—
27年8月期第2四半期	34.49	24.49

(注)当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	2,323		826			35.6
27年8月期	2,188		715			32.7

(参考)自己資本 28年8月期第2四半期 826百万円 27年8月期 715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	36.00	36.00
28年8月期	—	7.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成27年8月期は株式分割前、平成28年8月期及び平成28年8月期(予想)は株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年8月期の業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	1.2	420	△6.7	390	△10.5	320	△42.8	60.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期2Q	5,596,200 株	27年8月期	5,596,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年8月期2Q	328,382 株	27年8月期	328,341 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期2Q	5,267,842 株	27年8月期2Q	5,258,205 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れへの懸念が残る一方で、設備投資は持ち直しの動きがみられ、輸出や企業の景況判断はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益や雇用情勢の改善や消費者物価の上昇など緩やかな回復基調が続きました。

当社の主な販売分野である半導体業界におきましては、一部に在庫調整の動きがみられたものの、スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末等の需要を背景に半導体製造装置の需要も底堅く推移しました。FPD業界におきましては、中国でのテレビ向け液晶パネルに関連する大型液晶パネルの設備投資に加え、台湾や韓国でも設備投資の増加がみられました。

このような経済状況のもと、半導体分野では、前年度に引き続き顧客内におけるシェア拡大に注力し、需要拡大に合わせた生産設備増強や流動的人材の活用で生産体制の強化を図り売上高は堅調に推移しました。FPD分野では、旺盛な設備投資意欲を背景とした受注増加への対応として協力企業の拡大を進めることで売上高は大幅に増加しました。損益面では、売上高増加にくわえ、生産体制の強化を進めることで営業利益及び経常利益は前年同期を大きく上回りました。四半期純利益につきましては、税効果会計における繰延税金資産の減少を反映しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が1,151百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は267百万円(前年同期比55.8%増)、経常利益は250百万円(前年同期比48.7%増)、四半期純利益は173百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資産の状況

(資産)

前事業年度末に比べ、134百万円増加し2,323百万円となりました。主な内容は、電子記録債権が161百万円、有形固定資産が190百万円増加、現金及び預金が63百万円、受取手形及び売掛金が56百万円、たな卸資産が42百万円及び投資その他の資産が25百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、24百万円増加し1,497百万円となりました。主な内容は、短期借入金が110百万円、未払法人税等が29百万円増加、支払手形及び買掛金が28百万円、その他流動負債が21百万円、長期借入金が69百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、110百万円増加し826百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が110百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の32.7%から35.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ63百万円減少し、333百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、215百万円(前年同期は177百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益266百万円、減価償却費72百万円、減少要因として売上債権の増加額103百万円、仕入債務の減少額28百万円及び未払消費税等の減少額26百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、256百万円(前年同期は95百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出255百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、22百万円(前年同期は14百万円の使用)となりました。これは短期借入による収入120百万円、長期借入金の返済による支出69百万円及び配当金の支払額62百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は好調に推移していることから、通期業績予想につきまして平成28年4月1日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて業績予想を修正しております。

売上高は、FPD分野において受注が好調に推移していることから増額修正いたしました。損益面は、売上高が増加したこととから、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,457	333,508
受取手形及び売掛金	467,651	411,324
電子記録債権	106,970	268,197
商品及び製品	31,666	41,507
仕掛品	123,116	75,924
原材料及び貯蔵品	10,329	5,369
その他	99,255	65,202
貸倒引当金	△2,164	△2,582
流動資産合計	1,234,284	1,198,453
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	315,715	352,527
構築物(純額)	9,960	9,731
機械及び装置(純額)	271,676	440,969
車両運搬具(純額)	6,129	5,035
工具、器具及び備品(純額)	3,364	3,137
土地	289,783	289,783
建設仮勘定	16,447	2,369
有形固定資産合計	913,077	1,103,554
無形固定資産	8,436	14,191
投資その他の資産	32,990	7,304
固定資産合計	954,504	1,125,050
資産合計	2,188,788	2,323,503
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,519	51,025
短期借入金	—	110,000
1年内返済予定の長期借入金	138,996	138,996
未払法人税等	6,696	36,561
受注損失引当金	2,500	3,800
その他	105,464	83,864
流動負債合計	333,176	424,247
固定負債		
長期借入金	1,137,507	1,068,009
退職給付引当金	1,111	2,404
資産除去債務	1,628	1,635
その他	—	1,156
固定負債合計	1,140,246	1,073,205
負債合計	1,473,423	1,497,453

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	135,850	135,850
資本剰余金	19,850	19,850
利益剰余金	559,698	670,409
自己株式	△34	△59
株主資本合計	715,364	826,049
純資産合計	715,364	826,049
負債純資産合計	2,188,788	2,323,503

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	1,023,350	1,151,755
売上原価	743,920	754,423
売上総利益	279,430	397,331
販売費及び一般管理費	108,050	130,252
営業利益	171,379	267,079
営業外収益		
受取利息	32	33
受取保険金	273	321
その他	5,286	351
営業外収益合計	5,593	707
営業外費用		
支払利息	8,525	12,519
その他	0	4,826
営業外費用合計	8,525	17,345
経常利益	168,447	250,440
特別利益		
固定資産売却益	—	6,199
補助金収入	15,000	10,141
特別利益合計	15,000	16,340
特別損失		
固定資産除却損	465	—
特別損失合計	465	—
税引前四半期純利益	182,981	266,781
法人税、住民税及び事業税	1,633	32,868
法人税等調整額	—	59,988
法人税等合計	1,633	92,856
四半期純利益	181,348	173,925

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	182,981	266,781
減価償却費	54,276	72,333
有形固定資産除却損	465	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,908	396
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,200	1,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	1,292
受取利息及び受取配当金	△32	△33
支払利息	8,525	12,519
為替差損益(△は益)	△1,982	346
固定資産売却損益(△は益)	—	△6,199
売上債権の増減額(△は増加)	△93,197	△103,275
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,501	42,311
仕入債務の増減額(△は減少)	42,173	△28,494
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,526	△26,173
その他	21,240	△2,013
小計	187,530	231,090
利息及び配当金の受取額	32	33
利息の支払額	△7,223	△12,661
法人税等の支払額	△3,271	△3,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,067	215,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,717	△255,404
有形固定資産の売却による収入	—	6,200
無形固定資産の取得による支出	△1,771	△7,240
出資金の払込による支出	△10	—
長期貸付金の回収による収入	20	21
差入保証金の差入による支出	△40	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,518	△256,483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	120,000
短期借入金の返済による支出	—	△10,000
長期借入れによる収入	1,229,807	—
長期借入金の返済による支出	△1,249,278	△69,498
自己株式の取得による支出	—	△25
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,620	—
配当金の支払額	—	△62,787
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△211	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,062	△22,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,982	△346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69,469	△63,948
現金及び現金同等物の期首残高	162,658	397,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	232,127	333,508

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)及び当第2四半期累計期間(自平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。